

第1学年 音楽科学習指導案**題材名「音のつながりを考えて、まとまりのある旋律を作ろう」**

日時 令和6年 9月5日(木) 第6校時
学年 第1学年 8名(男子5名 女子3名)
指導者 西村 尚美

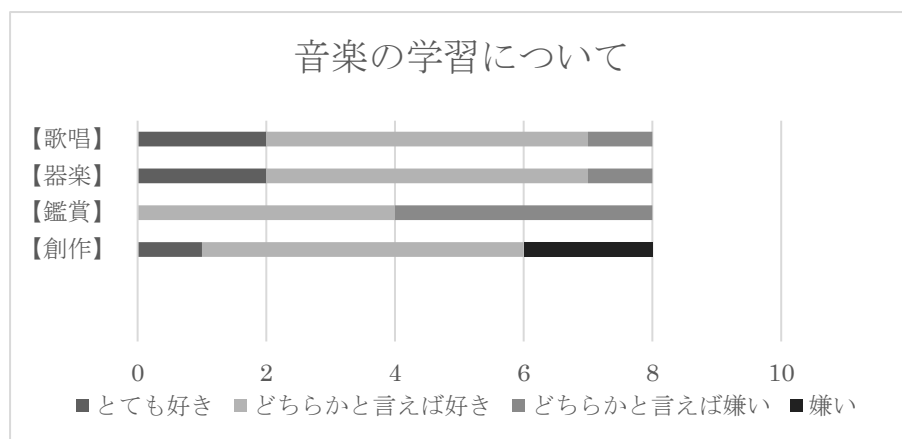
1 題材について**(1)題材観**

学習指導要領A「表現」(3)「創作」のア(「思考力・判断力・表現力等」)「創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫すること」イ(「知識」)の(ア)「音のつながり方の特徴について表したいイメージと関わらせて理解させる」ウ(「技能」)創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けること」を受けて設定した。「創作表現を工夫すること」とは、表したいイメージを持ち、音や音楽を形づくっている要素(リズムや旋律、音色等)の働かせ方などを試しながら、そのイメージに近づけるためにどのような表現をするかについて思いや意図をもって活動することである。

小学校では、リズム作り、3音、5音の旋律づくりなどを経験している。本題材では、音のつながりを考えながら決められた和音進行にあう音を重ね、旋律の創作を行う。しかし、創作方法の理解だけでなく、他者と比較をしたり、意見交流をしながら、自分の考えを述べたり、整理修正させていく過程を大事にさせたい。

(2)生徒観

小学校の頃より、少々羽目を外すことはあるが、元気に取り組んでおり、歌唱や楽器演奏などの活動は嫌いではない。しかし、音楽経験では差はほとんどないが、楽器演奏では技量の差があるため、感受性は豊かだが、表現する手段でつまずき、苦手意識をもってしまう生徒もいる。そのため、小学校での器楽や合奏では、個に応じた楽譜を準備したり、パートを意図的に分ける配慮などを行った。中学生となり、1学期終了後のアンケートでは、「歌唱」と「器楽」においては、学習に対する好き嫌いはほぼ同じであった。「鑑賞」については、あまり表現活動を行う場がないせいか、「どちらかと言えば・・・」の回答となった。「創作」は、好き嫌いがはっきりしており、肯定的な理由としては、「自分で作れるので楽しい」「創作は楽しい」などだが、否定的な理由としては「考えることが嫌い」などであった。



(音楽の学習についてのアンケートより 8名が回答)

(3)指導観

「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 音楽編」の新教育課程では、「音楽の見方・考え方」については、次のように整理されている。

音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けること

創作は、音楽的な経験の少ない生徒にとってはもちろんのこと、普段から楽器をあまり体験していない生徒にとっては階名や記譜の知識が関係してくるので、苦手な分野である。今回は、階名や記譜などの知識と結びつけることが目的ではないので、タブレットを使っての曲作りに挑戦する。簡単な操作で、階名などにとらわれずに、音を並べることができ、音の確認や他者との比較も安易

に行うことができる。その中で、音と音のつながりを感じることができたり、もっと工夫をしてみようという意欲が生まれるのではないかと思います。一定のルールの中ではあるが、自分達で旋律をつくり、表現することで、楽しみや喜びが生まれれば、意欲へもつながり、音楽の授業に主体的に取り組めるようになるのではないかと考える。

2 題材の目標

○音のつながり方の特徴について理解するとともに、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組むことができる。

題材の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。(知識) ② 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付け、創作で表現している。(技能)	① リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図を持っている。	① 音のつながり方の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組もうとしている。

3 指導と評価の計画 (全2時間)

時	学 習 内 容	評 価				評価方法
		知	表	主	評価規準	
1	情報の収集 ○音のつながり方の特徴について理解する。 ・和音進行 I IV V ・順次進行 跳躍進行 ・上行 下行 課題設定 ○表したいイメージを持ち、音のつながり方を生かして旋律をつくる。 ※ソングメーカーの操作に慣れる。	○			ア①音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 イ①リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図を持っている。	生徒観察
2 本時	整理・分析 ○前時の学習を振り返る。 ○条件を理解する。	○			ア②創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付け、創作で表現している。	生徒観察

創造・表現				ウ①音のつながり方の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組もうとしている。	
表現・まとめ					
○発表する。 ○振り返りを行う。					

4 本時の学習

(1) 本時の目標

○音のつながり方の特徴を生かして、お互いの考えを出し合いながら協力して旋律作りを行う。

(2) 本時の評価規準

ア②創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付け、創作で表現している。

ウ①音のつながり方の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組もうとしている。

(3) 本時のめざす生徒の姿 (評価基準)

評価基準	生徒の姿	基準達成のための手立て
A ポイントを踏まえて、自分の考えを持ち、意見を交流しながら、他者と共に考え、活動することができる。	お互いの旋律を聞き比べ、音の繋がりなどを考えて、お互いの意見を尊重しながら旋律づくりを行うことができる。	音の並びやリズムを比較させ、音の繋がりやまとまりを考えさせる。
B 自分の考えを持ち、他者と共に考えを交流しながら活動することができる。	お互いの旋律を聞き比べ、意見を交流しながら旋律づくりを行うことができる。	音の並びやリズムを比較させる。
C 「B」をみたしていない。	「B」を満たしていない	

(4) 準備物

タブレット パソコン モニター

(5) 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て)	評価規準[観点] (評価方法)
1 前時の学習内容の確認 ○音のつながり方について確認する。	◇順次進行・跳躍進行など既習事項について確認する。 ◇和音の進行について確認する。	【音楽の見方・考え方】表したいイメージを表現するには、音の繋がり方の特徴などをどのようにいかせばよいのか。
2 本時のめあてを確認する。		
音のつながりを考えながら、協力してまとまりのある旋律をつくろう		
※条件の確認	・和音進行に合う ・単純 (シンプル) ・旋律の進行のイメージをもつ	

3 個人で和音進行をもとに創作する。	◇創作の手順について確認する。 ◆視覚的に分かるように黒板に手順を示しておく。	
4 個人の旋律を交流する。(ペア)	◇ポイントを示しておく □和音進行 □音のつながり ◆操作が難しい生徒には支援をする ◇作った旋律を、お互いに聞き合わせる。	
5 交流したことをもとにペアでもとなる旋律をひとつ選び、さらに音を選択したり、修正をして旋律を完成させる。	・音が跳躍していて面白いな。 ・音がなめらかに並んでいるな。 ・耳に残る旋律でおもしろいな。 ◇タブレットを使って音のつながりや和音進行との調和を確認させる。 ◇音のつながりを検討し、よりよい表現になるように修正させる。	ア②創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付け、創作で表現している。 (生徒観察・作品)
6 ペアごとに発表する。	◆時間内に完成させられないペアもあるので発表形態に配慮する。	
7 振り返りをする	◇振り返りのポイントを確認させる。 ○自分のイメージした旋律をつくることができたか。 ○自分の考えを伝えたり、旋律がより良いものになるように話し合いに積極的に参加できたか。	ウ①音のつながり方の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組もうとしている。 (生徒観察)
(生徒の振り返りの例) ・A評価の記述例 自分の考えをしっかり伝え、お互いの旋律を比較しながら、よりまとまりのある旋律をつくるための工夫をすることができた。 ・B評価の記述例 意見を交流しながらイメージした旋律をつくることができた。		

(6) 板書計画

今日のめあて

音のつながりを考えながら協力してまとまりのある旋律をつくろう

音のつながり方

- ・順次進行・跳躍進行
- ・上行・下行
- ・和音進行

I I IV IV IV I I

創作活動の手順

- ・個人で創作
- ・旋律の交流
- ・旋律の選択・修正
- ・発表